

報道関係者各位
プレスリリース

No. BM2400521-01
2024年5月21日
株式会社リンク

**「ベアメール 迷惑メールスコアリング」の
DMARC レポート分析機能が大幅にアップデート
～～DMARC ポリシー強化に向けた調査・改善対応が容易に～～**

株式会社リンク（本社：東京都港区、代表取締役社長：岡田 元治）は、メールの健全性を診断・モニタリングするサービス「ベアメール 迷惑メールスコアリング」において、DMARC 分析機能をアップデートした最新バージョンの提供を、本日より開始します。

2024年2月に適用されたGmailの新しい送信者ガイドラインの影響もあり、これまで普及の遅れていた日本においてもDMARC（※1）の導入が進みつつあります。なりすまし防止の効力を有効にするためには、DMARCポリシーを quarantine（隔離）や reject（拒否）に設定する必要がありますが、現在DMARCを導入している企業の半数以上がモニタリングのみを行う none の設定のままになっています（※2）。ポリシーを none から quarantine や reject に引き上げるためには、自社のメール配信状況を把握し、認証に失敗しているメールの修正対応を行うことが重要です。

※1：DMARC (Domain-based Message Authentication, Reporting, and Conformance) とは、送信ドメイン認証技術のひとつで、SPF (Sender Policy Framework) と DKIM (DomainKeys Identified Mail) の認証ドメインおよび認証結果とメールに表示される送信元アドレスを照合することで「なりすまし」を防ぐ技術。認証に失敗したメールの取り扱いをポリシーによって指定したり、メール配信に関するレポートを受け取ったりすることも可能。

※2：総務省が公開している2023年12月時点での送信ドメイン認証技術の設定状況データより、DMARCポリシー設定状況の割合。
参考：「総務省 | 電気通信消費者情報コーナー | 迷惑メール対策 統計データ > JPドメイン名の種別ごとにおける送信ドメイン認証技術の設定状況 https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/d_syohi/m_mail.html#toukei

「ベアメール 迷惑メールスコアリング」が提供するDMARC分析機能は、メールプロバイダから日々大量に送られてくるDMARCレポートを自動的に集計し、グラフや表として可視化するサービスです。この度、DMARCレポートの可視化だけに留まらず、DMARCポリシー強化に向けた具体的なアクションを推進するための大幅な機能アップデートを行いました。

DMARCポリシー強化の鍵となるのは、メール送信環境の管理です。自社の送信環境を正確に把握した上で、各環境が認証に成功しているかを確認することで、ポリシーを quarantine や reject へ安全に引き上げることが可能となります。今回のアップデートでは「送信元IP管理」と3種類の「分析」機能の追加により、送信環境の管理と認証失敗の原因調査が容易になりました。また、メール配信の異常を検知する「アラート通知」の機能も追加されました。これらの機能アップデートによ

り、ユーザは DMARC 運用の効率化が可能になります。

■今回追加された DMARC 分析機能

● 送信元 IP 管理

自社がメール送信に利用している IP アドレスを登録し、タグを付与して管理できます。



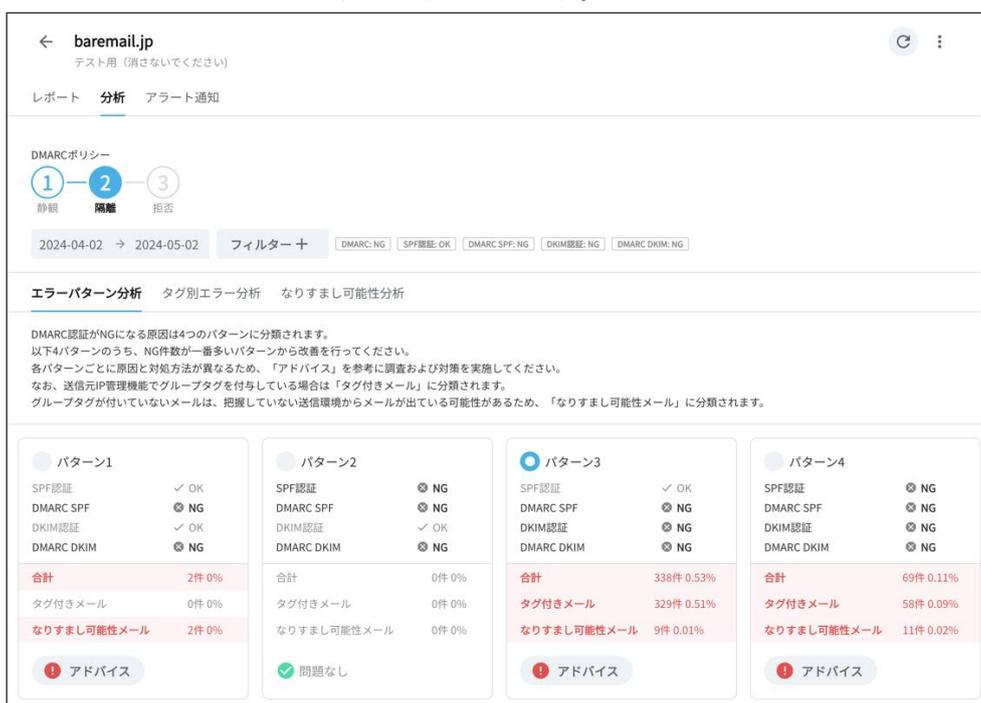
分析ドメイン	送信元IP	グループタグ	コメント
	10.0.0.0/8	aaa0000000	test
	183.90.242.17/32		update
	192.168.0.1/32	test@naka-1	
		LinkMail	
		_TEST_SHOW	
		test	
		test	
		_TEST_SHOW	create
		aaa0000000	
		AWS SES	

● 分析

以下3つの切り口で、エラーが起きている送信環境や原因を深掘りすることができます。

➢ エラーパターン分析

DMARC 認証が NG になる原因を4つのパターンに分類し、パターンごとにエラーの対処方法についてアドバイスを参照することができます。



DMARCポリシー: 1 静観, 2 隔離, 3 拒否

2024-04-02 → 2024-05-02

エラーパターン分析: タグ別エラー分析, なりすまし可能性分析

DMARC認証がNGになる原因は4つのパターンに分類されます。以下4パターンのうち、NG件数が一番多いパターンから改善を行ってください。各パターンごとに原因と対処方法が異なるため、「アドバイス」を参考に調査および対策を実施してください。なお、送信元IP管理機能でグループタグを付与している場合は「タグ付きメール」に分類されます。グループタグが付いていないメールは、把握していない送信環境からメールが出ている可能性があるため、「なりすまし可能性メール」に分類されます。

パターン	SPF認証	DMARC SPF	DKIM認証	DMARC DKIM	合計	タグ付きメール	なりすまし可能性メール
パターン1	OK	NG	OK	NG	2件 0%	0件 0%	2件 0%
パターン2	NG	NG	OK	NG	0件 0%	0件 0%	0件 0%
パターン3	OK	NG	NG	NG	338件 0.53%	329件 0.51%	9件 0.01%
パターン4	NG	NG	NG	NG	69件 0.11%	58件 0.09%	11件 0.02%

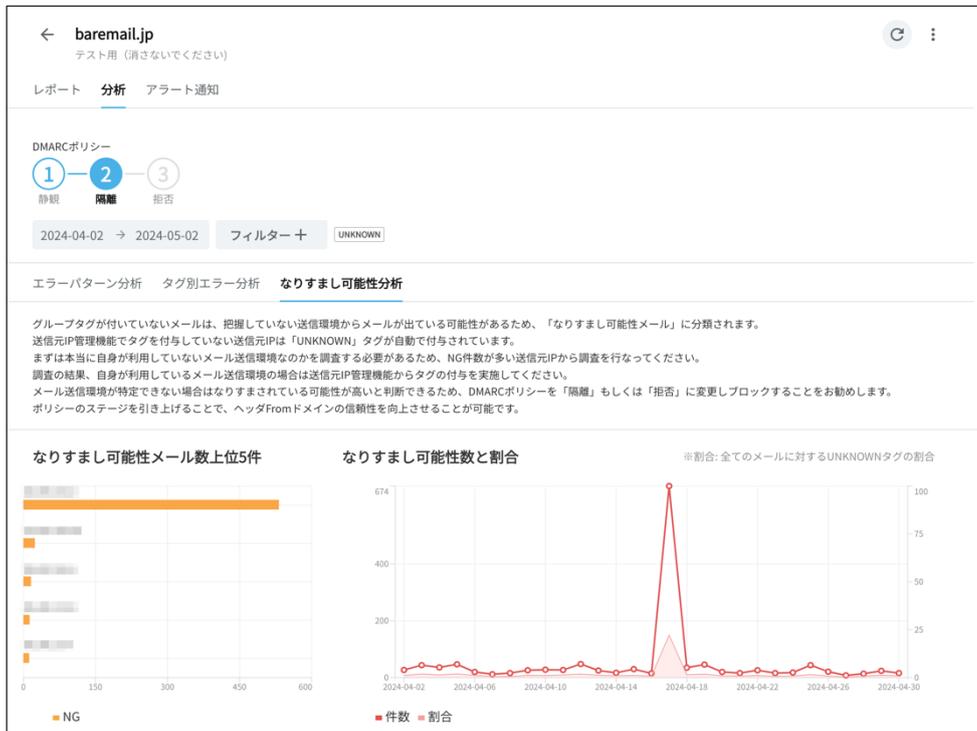
➤ タグ別エラー分析

送信元 IP 管理機能で付与したタグごとにエラー傾向を分析することができます。



➤ なりすまし可能性分析

送信元 IP 管理機能に登録していない、自社で把握できていない IP アドレスについて分析できます。送信数が多い送信元 IP を簡単に突き止めることができるため、把握できていない送信環境の調査が容易になります。



- **アラート通知**

アラート通知を行う条件を設定することができます。毎日管理画面を確認しなくても、メール配信に異常が発生した際に速やかに検知することが可能になります。

■ 「迷惑メールスコアリング」プラン表

	SILVER	GOLD	PLATINUM	PARTNER
初期費用	¥50,000	¥50,000	¥50,000	¥50,000～
月間利用料	¥9,000	¥34,000	¥59,000	¥65,000～
DMARC 分析機能 (標準ドメイン数)	△	○ (3ドメイン)	○ (6ドメイン)	○ (5ドメイン～)

※「△」は有償オプションです。

※ サブドメインも1ドメインとしてカウントします。

オプション	SILVER	GOLD	PLATINUM	PARTNER
DMARC 分析機能	¥15,000/月 (1ドメイン)	標準提供	標準提供	標準提供
DMARC 分析ドメイン追加 (1ドメインあたり)	¥15,000/月			ご相談

ベアメールは「重要なメールが顧客に届かない」という課題を解決するため、今後もさまざまな機能の追加・改善を行い、きめ細やかなサポートを通じてユーザ企業を支援してまいります。

迷惑メールスコアリングについて

迷惑メールスコアリングは、「ベアメール メールリレーサービス」で培ってきたメール配信のノウハウと AI 技術を組み合わせ、〈迷惑メールに判定される可能性〉が確認できるサービスです。ユーザはテストメールを送信するだけで多角的な診断を受けることができ、迷惑メールと判定される要因となる問題点や、その改善策を把握することができます。診断を自動化することで、送信メールの問題点及び健全性を常にモニタリングすることが可能になります。

■ Web サイト

迷惑メールスコアリング

<https://baremail.jp/mailexpress/top/>

ベアメールについて

ベアメールは「メールを確実に届ける」ことを支援するサービスとして、メールの高速配信・到達率の改善を実現する「メールリレーサービス」と、迷惑メールになる可能性や原因を診断する「迷惑メールスコアリング」を提供しています。お客さまの環境や状況に応じて2つのサービスを組み合わせることで、メール配信に関する運用の手間を削減し、到達率の改善を実現します。

サービスの詳細は、<https://baremail.jp/> をご覧ください。

株式会社リンクについて

株式会社リンクは、業界最大級の稼働台数を持つ専用ホスティング「at+link」、クラウド型ホスティング「リンクベアメタルクラウド」を軸として、7年連続シェア第1位のクラウド型コールセンターシステム「BIZTEL」、セキュリティプラットフォームサービス「PCI DSS Ready Cloud」など、さまざまなインターネット関連サービスを提供しています。農系事業にも取り組んでおり、2011年10月からは岩手県岩泉町にある自然放牧酪農場「なかほら牧場」を運営しています。事業の詳細は、<https://www.link.co.jp/> をご覧ください。